

名古屋市及びその周辺の溜池の現状調査

村上哲生（市公害研）・近藤繁生（愛知医大）・浜島繁隆・鈴木達夫（市邸学園高蔵高校）
須賀瑛文（千種中学校）

（調査目的・方法） 名古屋市東部及び、その周辺地域に位置する溜池の現状の基礎資料とする為に、該当地域の溜池、172 池について、1983年7月～8月、形態、環境、水質の調査を行った。いくつかの溜池については、過去、詳しい水質測定データがあるものの、200 以上を数えるこの地方の溜池を網羅したものはない。又、地図上に記載されている溜池であっても、土地利用状況の変化により、姿を消している例も少くない。このことから、今回、短期間に、なるべく多くの池の現状を記録するという方針で調査を企画した。調査項目は、溜池の形態（堤の種類、人工護岸の割合）、周囲の環境、水質（水色、PH、透視度、水の華の有無）、生物（周囲からの観察、聞き取り）に限定した。

（調査結果） 図1に調査した池の分布図を、表1に調査結果を示す。

1) 溜池の形態と周囲の環境： 溜池の形態を人手のかかった程度に応じて、A～Cの三型に分類した。A型の池が最も人工的な池であり、C型の池が自然のままの岸部が残った池である。各型の池の地域毎の分布をみてみると、守山区、尾張旭市、愛知郡の丘陵地帯では、C型の溜池の比率が高く（A、B型 36 %、C型 64 %）、名古屋市南部から、豊明市、刈谷市の低地部では、A、B型の比率が高くなっている（A、B型 71 %、C型 29 %）。C型の池は、丘陵地の谷の下部を堤で閉じた形で、平野部には存在し難く、三つの型の池の比率は、その溜池が分布する地域の地形に制約されると考えられる。溜池周囲の環境については、前述のC型溜池の比率が高い東北部丘陵地帯では、周囲のすべて、又は、一部が林である池が約8割を占るのに対し、東南部平地では、その比率は6割弱となる。2) 溜池の水質： 調査した水色、PH、透視度の三項目は、互いに強い関連があり、富栄養化の進行の程度に応じた値をとることが確認された（図2,3）。浮遊藻類の多い池では、一般に、水色は、緑色系統であり、透視度も低く、又、光合成による炭酸の消費の為、高いPH値をとる傾向にあった。このような富栄養化した池は、東南部の低地部に多く分布する。一方、東北部丘陵地帯には、褐色系統の水色、酸性に傾いたPHで特徴づけられた一群の池が見られる。これらの池の特性は、周囲の落葉、岸部の水草に由来する腐植質によるものであり、その作用により藻類の生産がおさえられているものと思われる。

（結論） 名古屋市及びその周辺の溜池 172 池を調査した結果、溜池の形態、周囲の環境、水質から、富栄養化した溜池と、腐植質で特徴づけられる溜池との二つに類別できることがわかった。前者は低地部に多く、後者は、丘陵部の林間に分布している。当方で、豊富な生物群集の見られる池、水の華等で不快感のない池の大部分は、腐植質で特徴づけられた池である。これらの池の腐植質は、水草、周囲の林の落葉に由来するものであり、周囲の林の伐栽、護岸工事による水草帶の絶滅でその供給は絶たれ、その池沼型は容易に富栄養型に移行し得る。現在の状況の溜池を維持するには、溜池の水質のみならず、周囲の環境も併せて保全する必要があると考えられる。

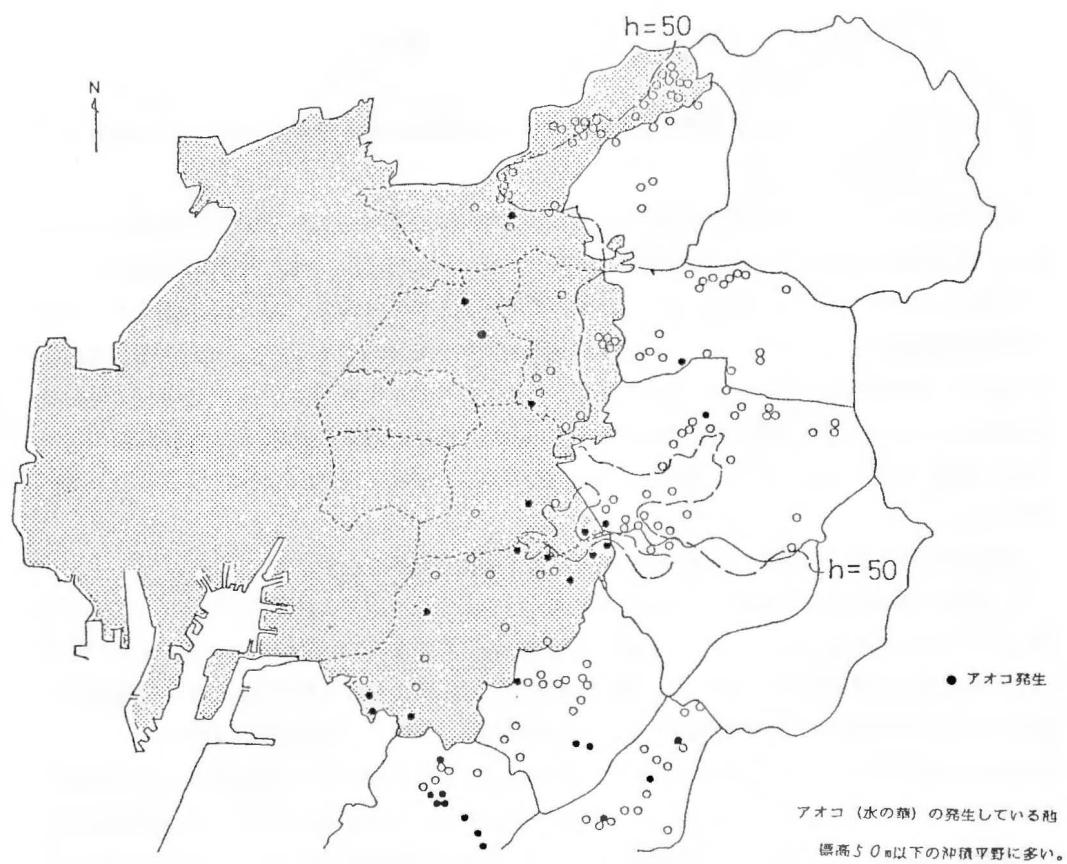


図1. 調査した池の分布図

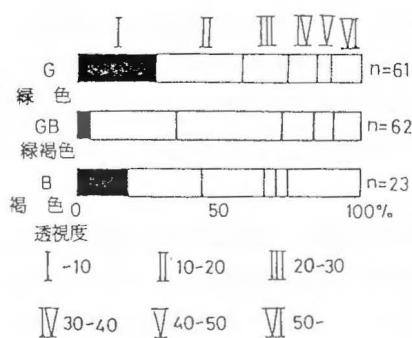


図2. 水色と透視度の関係

緑色の池は透視度の低い池の比率が高く、
褐色の池は透視度の高い池の比率が高い。

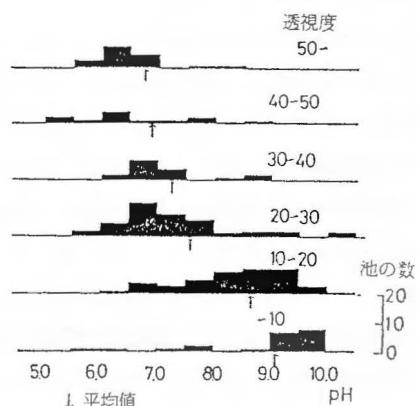


図3. 透視度と pH の関係

透視度の低い池ほど pH が高い。

表1. 調査結果

番号 1) 2)	名称	池の形 4)	環 境 5)	面 積(m ²)	水 色	P H	透視度(cm)
0 0 1	雨 池	C	■	1 6 8 5 8	緑褐	7.5	1 9
0 0 2	尼 池	C	IV	2 0 3 2	"	7.5	2 1
0 0 3	石 捨 池	B	III	8 2 2 8	"	6.6	3 7
0 0 4	大 池	C	IV	4 6 2 4	緑	6.7	2 7
0 0 5	大久手池	C	III	5 2 3 7 4	"	6.6	2 7
0 0 6	大 村 池	B	IV	5 2 3 7 4	緑褐	6.7	2 6
0 0 7	カケヒ池	C	IV	5 9 5 0	"	5.4	4 2
0 0 8	風 越 池	B	IV	2 6 4 5 7	"	9.1	1 9
0 0 9	上 池	B	III	7 9 3 3	緑	7.8	1 9
0 1 0	神 池	B	III	8 8 5 6	緑褐	6.7	4 2
0 1 1	白 鳥 池	C	IV	3 4 0 4	"	6.6	1 9
0 1 2	新 池	B	III	1 6 9 0 2	緑	7.9	2 5
0 1 3	竜 卷 池	C	IV	1 4 9 7 1	褐	-	-
0 1 4	寺 池	C	IV	5 2 8 9	"	6.4	1 4
0 1 5	東禪寺上池	B	III	6 9 4 2	緑褐	8.0	1 6
0 1 6	〃 中池	B	III	3 4 7 1	褐	7.4	1 6
0 1 7	〃 下池	C	IV	9 9 2	"	7.6	1 5
0 1 8	南 原 池	消滅			野球場		
0 1 9	濁 池	消滅			産業廃棄物処理場		
0 2 0	日の後池	C	I	2 9 7 5	緑褐	7.3	2 8
0 2 1	平 池	B	III	1 6 1 1 6	"	6.7	3 3
0 2 2	大森蛭池	枯		7 4 9 0	-	-	-
0 2 3	志段味蛭池	C	IV	3 4 7 1	緑褐 ⁽⁶⁾	6.7	> 5 0
0 2 4	二ツ池上	B	III	1 9 8 3 4	緑 ⁽⁶⁾	9.4	1 3
0 2 5	〃 下	C	I		緑褐	8.7	1 3
0 2 6	見返池	C	IV	8 8 4 6	"	6.8	2 7
0 2 7	緑ヶ池	C	IV	2 8 6 8 3	緑	6.6	> 5 0
0 2 8	安 田 池 ³⁾	C	IV	5 8 8 7 9	緑褐	6.2	5 0
0 2 9	※小幡綠池	枯渴					
0 3 0	※ 〃	C	IV	-	褐	6.0	3 2
0 3 1	※下志段味	A	I	-	-	-	-
0 3 2	※ 〃	C	IV	-	-	-	-
0 3 3	※ 〃	C	IV	-	褐	6.8	1 9
0 3 4	※中志段味	C	IV	-	"	6.1	> 5 0
0 3 5	※上志段味	C	IV	-	緑	6.7	2 9
1 0 1	茶屋ヶ坂池	B	III	6 2 5 5	褐 ⁶⁾	8.8	1 5
1 0 2	猫ヶ洞池	C	III	6 5 8 0 9	褐 ⁶⁾	6.6	1 2
2 0 1	荒 池	B	III	1 0 3 4 9	緑 ⁶⁾	9.1	1 6
2 0 2	井堀上池	C	IV	5 1 5 7	緑褐	6.0	2 4
2 0 3	〃 下池	C	IV	6 8 8 6	"	5.6	1 3
2 0 4	ぐみ池	A	I	-	褐	6.7	2 0
2 0 5	五合下池	A	II	1 8 5 0 0	"	8.8	6
2 0 6	新 池	C	IV	1 1 9 1 8	緑	9.0	3 8
2 0 7	塚ノ松池	C	IV	3 2 1 1 3	褐	6.1	4 7
2 0 8	デッショ池	A	I	1 7 9 5 0	緑褐	8.9	1 7
2 0 9	西 烟 池	C	IV	9 6 1 3	"	4.9	1 1
2 1 0	牧 野 池	C	IV	2 2 9 1 6 6	"	1 0.5	2 1
2 1 1	廻 彦 池	C	IV	7 2 7	褐	5.7	2 0
2 1 2	明 徳 池	B	III	1 6 3 7 7	緑	6.1	1 6

番号	名称	池の形	環境	面積(m ²)	水色	P H	透視度(cm)
3 0 1	荒 池	C	■	9 1 2 3 9	緑褐°	8.8	1 7
3 0 2	大 根 池	B	IV	2 1 5 8 4	緑褐	8.4	1 6
3 0 3	新 池	B	I	1 9 8 3 5	緑°	9.2	9
3 0 4	双 子 池	A	■	6 4 4 6	褐	7.6	2 3
4 0 1	赤 松 大 池	B	■	1 4 4 5 9	緑°	9.6	8
4 0 2	水 主 ケ 池	C	■	7 6 3 5 7	緑°	9.9	1 3
4 0 3	要 池	A	I	2 9 1 2 6	緑褐	8.6	1 6
4 0 4	神 沢 池	B	I	1 4 8 7 6	緑褐°	7.3	3 3
4 0 5	蛇 池	C	■	-	緑°	9.5	2 3
4 0 6	四 郎 鮎 池	A	I	-	緑褐	9.2	1 7
4 0 7	砂 走 池	B	■	1 2 4 7 6	緑褐°	9.4	1 5
4 0 8	戸 笠 池	B	■	3 0 7 4 3	緑°	9.0	1 8
4 0 9	鳴 子 池	A	I	1 8 0 3 6	緑褐	7.9	2 1
4 1 0	新 海 池	C	■	1 0 2 8 2 4	緑°	8.8	1 8
4 1 1	鶴 池	C	IV	-	褐	8.0	> 5 0
4 1 2	平 野 池	B	■	1 9 8 4 5	緑褐	8.9	4 0
4 1 3	琵 琶 ケ 池	C	■	6 2 3 9 1	緑	7.9	2 0
4 1 4	二 ツ 池	B	■	8 3 6 6	緑°	9.5	7
4 1 5	螺 貝 池	A	I	2 0 4 7 3	緑褐	9.1	2 8
4 1 6	松 池	B	I	6 6 4 4	褐	7.7	4 4
4 1 7	蝮 池	C	■	3 8 9 8 8	褐	8.2	3 3
4 1 8	※ 徳 重	B	■	-	緑°	9.9	9
4 1 9	※ //	A	I	-	褐	8.1	1 9
5 0 1	維 摩 池	C	IV	1 2 6 9 5 4	緑褐	7.0	2 9
5 0 2	岩 本 池	C	IV	5 5 8 0 0	-	-	-
5 0 3	大 広 見 池	C	■	4 4 0 0 0	緑	-	-
5 0 4	大 道 平 池	C	IV	4 6 6 0 0	緑	7.2	2 6
5 0 5	竜 ノ 水 池	C	IV	4 5 0 0 0	緑	6.8	> 5 0
5 0 6	濁 池	C	IV	1 4 4 9 7 0	-	6.9	1 1
5 0 7	平 池	B	■	5 0 2 1 4	緑褐	6.9	2 4
5 0 8	※ 旭ヶ丘町	消滅					
6 0 1	井 堀 池	C	IV	7 3 0 0	緑褐	6.7	2 5
6 0 2	岩廻間上池	C	IV	4 4 0 0	褐	6.5	8
6 0 3	// 下池	C	■	1 2 0 0	//	5.8	6
6 0 4	払 ケ 池	C	■	5 9 0 0 0	//	6.8	4
6 0 5	卯 塚 池	B	■	2 5 0 0	//	6.2	2 5
6 0 6	オ ヨ ナ ガ 池	A	I	-	緑褐°	-	-
6 0 7	カキツバタ池	B	■	-	褐	6.1	> 5 0
6 0 8	北 浦 池	C	IV	1 8 0 0	緑褐	6.3	2 8
6 0 9	清 水 池	C	IV	3 8 0 0	緑	6.1	3 7
6 1 0	立 石 池	B	I	4 5 8 0 0	緑褐	8.5	> 5 0
6 1 1	出 田 池	A	■	1 6 0 0	褐	7.6	1 8
6 1 2	中 根 中 池	C	IV	5 3 0 0	緑	5.5	1 2
6 1 3	長 鶴 池	C	IV	2 0 6 0 0	//	7.5	2 2
6 1 4	ヒ 口 池	C	IV	3 7 0 0	//	6.2	1 4
6 1 5	溝 入 池	A	I	3 4 0 0	緑褐	7.4	2 5
6 1 6	上 池	C	IV	2 5 0 0	褐	7.2	1 0
6 1 7	宮 ケ 洞 池	B	■	7 6 0 0	緑	7.0	> 5 0
6 1 8	葦 池	C	I	5 4 0 0	緑褐	6.6	3 0

番号	名称	池の形	環境	面積(㎡)	水色	pH	透視度(cm)
701	愛知池	C	III	-	緑褐	7.1	21
702	新池	A	I	23000	"	8.6	22
703	阿良池	C	IV	10900	"	6.8	15
704	新ラ田池	B	III	8100	"	8.1	10
705	岩藤新池上池	C	IV	10900	"	6.6	30
706	"下池	B	III	30000	緑	6.4	44
707	海老池	B	II	53400	"	6.8	38
708	鶴恩慕池上池	C	IV	-	"	5.1	40
709	笠寺池	C	II	8000	"	9.5	8
710	芋地池	A	I	5300	緑褐	8.5	18
711	驚池	A	I	11300	緑	7.4	20
712	高松池	C	IV	6500	"	6.5	20
713	寺脇池	A	I	1000	"	6.7	>50
714	生出し池	B	III	16900	緑褐°	9.3	16
715	機織池	C	IV	77300	"	6.4	21
716	林池	B	III	17400	緑	6.7	36
717	東池	A	II	4700	褐	6.8	>50
718	藤塚池	C	II	2900	緑褐	7.5	17
719	二ツ池上池	B	II	3700	緑°	8.0	9
720	弁天池	C	IV	31600	"	7.9	48
721	堀割池	C	III	5600	緑褐	6.4	23
722	三ツ池上池	C	IV	2400	褐	5.7	>50
723	"中池	C	II	3100	緑褐	6.0	>50
724	"下池	C	II	2700	"	6.3	36
725	五色園三ツ池中	B	III	6800	緑	6.3	30
726	"下	B	II	4300	"	6.3	>50
727	蟹甲三ツ池下	A	III	8200	褐	6.7	>50
728	三ツ峰上池	A	I	13000	緑	7.1	32
729	"下池	C	IV	19900	"	6.3	>50
730	美濃輪池	A	I	35000	緑褐	7.7	8
731	※岩藤新池北	C	IV	-	"	5.9	>50
801	牛廻間池	A	I	3930	"	7.8	24
802	濁池	B	III	28647	緑	7.1	9
901	荒巻上池	B	III	7000	"	8.4	11
902	"下池	A	III	19000	"	8.4	13
903	大蔵池	A	I	37000	"	9.7	18
904	大狭間上池	B	III	13000	緑褐	8.6	33
905	"下池	B	I	13000	"	8.4	18
906	大原池	B	I	26000	"	9.5	11
907	唐竹池	A	I	1600	-	7.0	25
908	皿池	B	III	18000	緑褐	8.4	11
909	善波池	A	-	14000	枯褐		
910	稚池	B	I	16000	緑°	10.4	11
911	鶴根池	B	III	2000	褐	6.8	22
912	長池	B	II	3000	緑	9.8	42
913	西池	C	III	13000	緑°	9.7	32
914	琵琶池	A	II	16000	緑°	10.1	28
915	三崎池	B	III	20000	緑	6.9	>50
916	三ツ池	B	III	12000	緑褐	7.2	33

番号	名称	池の形	環境	面積(m ²)	水色	pH	透視度(cm)
1001	岩ヶ池	B	IV	110951	緑°	7.2	35
1002	牛池	C	IV	17654	緑褐	7.4	21
1003	大池	B	III	3068	"	6.3	>50
1004	上すり池	B	II	9141	緑	9.5	11
1005	唐池	B	II	9972	褐	6.7	26
1006	草野池	B	II	80828	緑褐	6.4	42
1007	小堤西池	C	III	33159	枯褐		
1008	新池	B	II	16997	緑褐	7.2	21
1009	洲原池	C	III	179627	緑°	9.6	9
1010	竜ヶ根池	B	II	29563	緑	9.7	9
1011	沼田池	C	IV	8833	褐	8.0	21
1012	花池	A	I	15131	-	6.8	35
1013	広沢池	C	IV	20413	緑褐	6.0	48
1014	間野四郎池	B	II	12411	"	7.0	17
1015	南池	B	II	42964	緑°	8.6	24
1016	山根池	A	I	3358	緑	7.3	46
1101	金池上池	A	I	11445	緑褐°	9.3	8
1102	"下池	A	I	6578	緑	9.0	17
1103	鴨池上池	B	III	9371	緑°	9.0	17
1104	"下池	B	III	14082	"	9.1	9
1105	川池	A	I	18269	"	9.7	8
1106	新池	A	I	-	"	6.8	21
1107	澄池	A	III	6968	"	9.2	5
1108	立会池	A	I	4287	"	9.9	9
1109	立合池	C	IV	18670	緑	9.2	10
1110	トチネ池	B	III	1487	緑°	9.5	9
1111	二ツ池	C	IV	58591	緑褐	8.5	23
1112	マス池	A	I	5000	"	8.0	18
1113	藪池	C	IV	5609	緑	9.1	6

表-1 の説明

- 1) 該当する池の所属する行政区を示す。(0 : 守山区、1 : 千種区、2 : 名東区、3 : 天白区、4 : 緑区
5 : 尾張旭市、6 : 長久手町、7 : 日進町、8 : 東郷町、9 : 豊明市、10 : 刈谷市、11 : 大府市)
- 2) 各行政区の内通し番号、50音順。
- 3) ※は、無名のため所在地を示す。
- 4) 池の形を示す。(A : コンクリート、石垣による護岸率が 80 % 以上で形は方形で直線部分が多い。
B : 同護岸率が 50 % 以上で形は半円形または台形で直線部分が比較的多い。C : 同護岸率が極めて低く形は円形またはアーバ状で直線部分は少い。)
- 5) 池周囲の環境を示す。(I : 緑地はほとんどなく大部分が人家や道路に囲まれる。II : 一部に草地または畑地がみられる。III : 部分的に林や草地で囲まれる。IV : 大部分林で囲まれる。)
- 6) 水色の右肩の丸印は、水の華の発生を示す。